

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	相馬 ひかり
(英)	Career Development Ⅲ	授業形態	講義			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	木曜日 3限
講師紹介	社会人経験を生かし、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	グループワークや個人ワークを通して、他者理解や自己価値を発見し、社会に出たときに対応できる力や精神力を身につける 社会人基礎力に必要な能力【前に踏み出す力】「考え抜く力」【チームで働く力】を習得することができる					
到達目標	自己発見を行い、希望の就職先への内定に繋げる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	インターネットマナー・個人とクラス目標	インターネットを学び、ITリテラシーを再度確認をする、自己分析をする 目標についてどのように取り組むか自分たちで決める
2	クラスコミュニケーション	クラスコミュニケーションを通して自分の意見を共有する 他者の意見を取り入れて考える力を身につける
3	就職対策①	社会人としての立ち振る舞いや言葉遣いを身につける
4	就職対策②	面接の基本やポイントを知る
5	模擬面接①	HM科と合同で模擬面接を行う
6	模擬面接②	HM科と合同で模擬面接を行う
7	中間テスト	中間試験(1-6回目のまとめ)
8	グループディスカッション	スポフェスに向けて出場種目・クラス衣装を決定
9	コンテスト対策	コンテストに向けて感性を磨き、オリジナリティのある作品が作れるようにする
10	グループワーク	グループワークを通して自分の意見や考えを伝える力を身につける
11	プレゼンテーション力を磨く	自分の意見を相手に分かりやすく伝えようとする力を身につける 就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力を磨く
12	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇に向けて準備しておきたい項目を理解する 夏休みの課題について
13	夏休みの課題の振り返り	夏休み課題を全体に共有する、自分から発信する
14	半年間の振り返り	これまでのおさらい、就職や卒業に向けて取り組むべきことの確認
15	定期試験	定期試験(8-14回目のまとめ)

科目名 (英)	接客マナー Customer Service	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	月曜日 2限
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がコスメマイスター検定に必要な知識を分かりやすく教える。普段のセルフトリートメント時も知識を活用してほしい。					
目的 科目概要	目的:コスメマイスター検定対策のための知識を身につけ、今後の接客で活かす 概要:コスメマイスター検定対策に必要な化粧品や肌トラブルの知識を学ぶ					
到達目標	・日本コスメティック協会のコスメマイスター検定に合格する ・お客様の肌の状態に合ったアドバイスが出来る					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	コスメティック協会検定テキスト コスメQ&A			事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 検定テキスト【Q1～12】	この授業の進め方、 【検定対策】化粧品の定義と法律
2	検定テキスト【Q13～23】	【検定対策】スキンケア化粧品の目的や種類について
3	検定テキスト【Q24～36】	【検定対策】化粧水、美容液、クリーム、マッサージ、パックについて
4	検定テキスト【Q37～42】	【検定対策】メイクアップ化粧品について
5	検定テキスト【Q43～52】	【検定対策】化粧品原料について(油性原料)
6	検定テキスト【Q53～62】	【検定対策】化粧品原料について(有効成分)
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	検定テキスト【Q63～72】	【検定対策】化粧品原料について(界面活性剤)
9	検定テキスト【Q73～80】	【検定対策】化粧品原料について(品質保持剤)
10	検定テキスト【Q81～91】	【検定対策】皮膚の構造と役割(表皮、真皮、皮下組織)
11	検定テキスト【Q92～105】	【検定対策】美しい肌の条件、肌タイプについて
12	検定テキスト【Q106～120】	【検定対策】肌トラブルについて(乾燥、紫外線)
13	検定テキスト【Q121～133】	【検定対策】肌トラブルについて(くすみ、クマ、シワ、たるみ、ニキビ)
14	定期試験	これまでの授業の理解度を確認する
15	コスメマイスター検定試験	日本コスメティック協会検定コスメマイスター試験

科目名 (英)	接客マナー Career Development	年次	2	実務経験	担当	石田 智子
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	木曜日4限
講師紹介	百貨店などの接客サービスの現場経験をもつ講師が、実体験を交えた講義を行う。個人技に近い「おもてなし」を自分自身で学び取るために、グループワークを取り入れた体験参加型の講義を行うので、毎授業積極的に参加すること。					
目的 科目概要	社会人に求められる、一般常識やマナーについての基礎知識を「サービス接客検定3級」テキストで学び、人間力を高め、お客さまやチームメイトからも信頼、指名される接客能力を身につける。					
到達目標	サービス接客検定3級に合格を目指す。 社会人としてのビジネスのマナー、販売員としての基礎知識学び、定期試験において実例問題を解くことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	サービス接客検定準1級2級3級テキスト&問題			事前事後 学習と その内容	サービス接客3級過去問題は、授業内だけでなく積極的に取り組むこと	
教材						
特記事項	就職活動実務、社会的スキル(ビジネスマナー等)は、ロールプレイやグループワークも行うので、積極的に参加すること					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	科目オリエンテーション／就職活動実務(履歴書送付注意事項、送付状作成、電話対応)
2	サービス接客検定対策①	検定過去問題の傾向と対策
3	サービス接客検定対策②	I サービススタッフの資質／II 専門知識
4	サービス接客検定対策③	III 一般知識／IV 対人技能①
5	サービス接客検定対策④	IV 対人技能②／V 実務技能
6	サービス接客検定過去問題	サービス接客検定直前対策(まとめ)
7	中間試験	中間試験実施
8	科目オリエンテーション(第8回～定期試験) 接客マナー①	サービス接客検定3級受験後の授業の進め方(シラバス確認)と定期試験範囲の確認 言葉づかい・身だしなみ・仕事の基本(挨拶・返事・報告、連絡、相談)
9	接客マナー②	電話対応(受け方、かけ方・取り次ぎ・携帯電話のマナー)
10	来客対応・訪問	来客対応(応接室、案内、お茶出し)・訪問する際の心得
11	文書作成	文書作成の基本(社内文書・社外文書・手紙、はがきなど)
12	贈答知識・包装	贈答知識(熨斗、上書き、名入れ等・慶弔マナー)・包装実習(基本の斜め包み)
13	金銭授受	現金・クレジットカード・キャッシュレス決済・領収書の注意事項
14	サービスマインド	心得・内部顧客と外部顧客・苦情対応の基本
15	まとめ、定期試験対策／定期試験	定期試験に合格する

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅲ General Make Up Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクファッション科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	月曜日3・4限
講師紹介	コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くのヘアメイク現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティーアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会シルバー資格を取得する。					
到達目標	化粧品販売員検定シルバーの内容を理解し80点以上を目指す。ビューティーアドバイザーとしてのメイクテクニックを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	様々なブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	ipadは毎回使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	化粧品学(応用)1&トレンドカラー①国内ブランド	業事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分などを習得①国内ブランドメイクの特徴を理解しメイクを習得する
2	化粧品学(応用)2&トレンドカラー②韓国ブランド	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなどを習得②韓国ブランドの特徴を理解しメイクを習得する。
3	皮膚科学1&トレンドカラー③中国ブランド	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌などを習得③トレンドカラー③中国ブランドの特徴を理解しメイクで習得する。
4	皮膚科学2&トレンドカラー④外資系ブランド	スキントイプ・肌のトラブルなどを習得④トレンドカラー④外資系ブランドの特徴を理解しメイクで習得する。
5	スキンケア・メイクアップカウンセリング①	カウンセリングシートを使用して悩みをヒヤリングし、適切にメイクアップをアドバイス実習する。
6	スキンケア・メイクアップカウンセリング②	カウンセリングシートを使用して悩みをヒヤリングし、適切にメイクアップをアドバイス実習する。
7	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験
8	パールトーンカラーメイク①	トーンの理解・パールトーンカラーメイクを実習する。
9	ビビットトーンカラーメイク②	トーンの理解・ビビットカラーメイクを実習する。
10	ディーブカラーメイク③	トーンの理解・ディーブカラーメイクを実習する。
11	類似配色メイク	類似配色の理解・類似配色メイクを実習する。
12	反対色メイク	反対色配色の理解・類似配色メイクを実習する。
13	モノトーンメイク	モノトーンのメイクを実習する。
14	定期試験対策	定期試験カラーメイク対策
15	定期試験	カラーメイク

科目名 (英)	ブランド研究 II Brand Research II	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・専攻	メイクファッション科	単位	2	有	開講区分	前期
					曜日・時間	8週目～金曜日1・2限
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	今季のトレンドコスメ、トレンドメイク、話題のスキンケアなどを研究。					
到達目標	今季のトレンドコスメやスキンケアアイテムを調べ、今の流行りを知ることができる。実際に販売店舗に行くことによって、未来の自分の想像をすることができる。目標ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	様々なブランドに興味をもつ	
教材	学校教材					
特記事項	ipadを毎回使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	トレンドのメイクアイテム、スキンケアアイテム調べ	今流行っているメイクアイテムなどを事前に調べ、予習しておく
9	予習	気になるアイテムをチェックし、ブランドやコスメをまとめる。最低3店舗。
10	百貨店実習	実際に百貨店へ。
11	フィードバック	百貨店に行った際、体験したこと、心に残ったことをみんなで話し合う
12	店舗実習	実際に店舗へ。
13	フィードバック	店舗に行った際、体験したこと、心に残ったことをみんなで話し合う
14	グループワーク	定期試験に使う素材をグループワークし、個々でまとめておく。
15	定期試験	ブランド研究 発表

科目名 (英)	トータルメイク Total make up	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	水曜日3・4限
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	イメージメイク、TPO、トレンドファッションに合わせたメイクを学ぶ。					
到達目標	いろいろなTPOに合わせたメイク、トレンドファッションに合うメイクを考え、モデルに合ったメイクがご案内できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	いろいろなお店、媒体を見て目を養う。		
教材	学校教材。					
特記事項	エプロンと名札着用で臨む。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	就活メイク	モデルの顔立ちにあった就活メイクを提案し、実習。
2	2024SSトレンドファッションメイク	2024SS ファッショントレンドを分析し、それに合わせたメイク実習。
3	2024SSトレンドメイク	2024SS メイクトレンドを分析し、実習。
4	骨格のおさらい。コントアーメイク	1年次に習った人の骨格の違いをおさらいし、きれいな骨格に見えるコントアーメイクを実習。
5	日焼け風メイク	日焼けした肌づくり、そばかすメイク実習。
6	およばれパーティーメイク	特別なパーティーメイクを提案し、実習。
7	中間試験	テーマに沿った実習発表
8	量産型地雷メイク	地雷メイクを分析し、実習。
9	素肌感メイク	素肌感を生かしたメイクを分析し、実習。
10	クリスマスメイク	ラインストーンなどでキラキラ可愛いメイク実習。
11	クリームフェイスカラー使用メイク	クリームテクスチャーを使ったメイク実習。
12	パレット捨て色活用メイク	持っているパレットで使わないカラーをメインにするメイク実習。
13	華やかカラーメイク	ポップカラーを使った創作メイク実習。
14	2025SSトレンドファッションメイク	2025SS ファッショントレンドを分析し、それに合わせたメイク実習。
15	定期試験	総合的な試験

科目名 (英)	スキンケアカウンセリング I Beauty Counseling I	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクファッション科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	火曜日3・4限
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がフェイシャルトリートメントの知識と技術を分かりやすく教える。普段のセルフトリートメントにもその知識を活かしてほしい。					
目的 科目概要	目的:フェイシャルトリートメント全般を理解し効果的な方法を選択できる。 概要:ディープクレンジング、機器トリートメント、パック、カウンセリングを行うための理論と技術を学ぶ。					
到達目標	・お客様の肌の状態を正確に観察し、目的に合ったトリートメント内容を組み立てられる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書						
教材	プリント適宜配布	事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。			
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 フェイシャルトリートメントの流れと目的 クレンジング、マッサージの復習	この授業の進め方、 フェイシャルケアの種類や流れを把握する クレンジング、マッサージ
2	ディープクレンジング(吸引) マッサージ	吸引の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
3	ディープクレンジング(酵素) マッサージ	酵素の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
4	ディープクレンジング(ゴマーージュ) パック	ゴマーージュの効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する パックを均一に塗布し正確に除去する
5	ディープクレンジング(ブラシクレンジング) パック	ブラシクレンジングの効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する パックを均一に塗布し正確に除去する
6	ディープクレンジング、パック	モデルに適したディープクレンジングとパックを選択し効果を出す
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	ディープクレンジング(選択) 機器トリートメント(イオン導入)	イオン導入の効果、禁忌事項、注意事項、導入液の種類、手順を理解する
9	ディープクレンジング(選択) 機器トリートメント(パター)	パターの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
10	機器トリートメント(選択) マッサージ	モデルに適した機器トリートメントとマッサージを選択し効果を出す
11	機器トリートメント(選択) パック	モデルに適した機器トリートメントとパックを選択し効果を出す
12	カウンセリングと施術	モデルのカウンセリングをし、効果的な施術を行う
13	カウンセリングと施術	モデルのカウンセリングをし、効果的な施術を行う
14	通し練習	モデルに適した施術内容を考え、効果を出す
15	定期試験	これまでの授業の理解度を確認する

科目名 (英)	ジェルネイル Gel Nail	年次	2年	実務経験	担当	殿村 雅子
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	水曜日1・2限
講師紹介	様々なシーンでのネイルサロン等のサロンワークを経験					
目的 科目概要	ジェルネイルの基本を知識として身に付け、技術や知識の手順を学ぶ。同時にアートの仕方・グラデーション・デザインなども理解しながら受講してほしい。ジェルネイルの基礎技術を習得し、必ずジェルネイル検定初級に合格出来るよう授業を行う。そのためには、中間試験と期末試験を取り入れ技術面と知識に置いてしっかり勉強し、合格基準に持っていけるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ジェルネイル初級に合格できるデザインアートを勉強し身に付ける。 ジェルアートを覚えデザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	JNAテクニカルシステムベーシックジェルネイル			事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルネイルの基本を知識として身に付ける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】教材確認、道具の名称、使い方をデモンストレーションで解説。ジェルネイルに触れてみる。 ハンドを使用 【履修確認】小テスト2点
2	プレパレーションの重要性を学ぶ	【授業形態】講義・実習 【到達目標】プレパレーション～アプリケーショントレーニング。ナチュラルネイルのオーバーレイ、カラージェル1色塗り。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
3	ジェルネイルの基本の手順を覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニング カラージェル1色塗り 【履修確認】小テスト2点・課題点2点
4	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。相モデルトレーニング(タイムトライアル) 【履修確認】小テスト2点
5	ジェルネイル検定初級のアートレベルを上げる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ピーコックデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
6	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】ジェル検定初級内容 片手ケア・ジェルカラー赤・ピーコック 【履修確認】中間試験20点
8	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
9	ジェルネイル検定初級直前対策	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
10	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドラッグアート(マーブル・ピーコック)のデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点+課題点2点
11	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドット・フラワーアートのデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
12	グラデーションの習得	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデーションのデモンストレーション。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
13	ジェルネイル検定初級直前確認	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。事前確認、仕込み。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
14	デザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】カラー・ラメを組み合わせアートする。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】両手ジェルカラー、アート 【履修確認】期末試験50点

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ Hair make Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	長尾 建
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクファッション科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	火曜日1,2限
講師紹介	様々なヘアメイク現場経験を持つ講師による即戦力となるヘアやメイクの技術を学ぶ					
目的 科目概要	ヘア技術の基本技術を知り、ヘアの商材の役割と用途から、髪の扱いとスタイルの作り方を学び実践力を習得する					
到達目標	基本のヘアアレンジができるようになり、ファッションやブランド、顔の形に合わせてのヘアメイク提案と 髪質からのセット材の付け方やチョイスができるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容			
教材	メイクアップ道具 ヘア道具一式					
特記事項	セルフアレンジ、相モデルの実践の日はヘアセット材をつけてこないこと。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	ヘアアイロンを使ったスタイル(復習)	ヘアアイロンを使い、編み込みやゴムを使ったヘアセットの実践				
2	ホットカーラーを使った土台作り	ホットカーラーを使ってヘアセットの基礎となる土台を作ってみる				
3	ホットカーラーを使ったヘアセットを作る	ホットカーラーの復習と土台を用いたヘアセットの実践				
4	和髪のヘアセット①	ホットカーラーを使って和風の髪型を仕上げてみる				
5	和髪のヘアセット②	スタイリング剤を使いながらクオリティアップを目指す				
6	中間試験対策	色々なテクニックの入ったアップスタイルを作る				
7	中間試験	アドバイスをふまえながらの、ヘアアレンジの実践テスト				
8	スタイリング剤の選定	様々なスタイリング剤を実際に髪に使用し質感の違いを知る				
9	ツヤ肌メイク	ツヤ肌メイクの作り方を学ぶ				
10	マット肌メイク	マット肌メイクの作り方を学ぶ				
11	テーマに合わせたヘアメイク	ツヤ、マットのヘアメイク の復習				
12	ブランドを知ろう	人気のブランドにどのようなものがあるか調べてみる				
13	ブランド別ヘアメイク	ブランドイメージを決めてコンセプトシートの記入、練習				
14	定期試験対策	ブランドイメージを決めてコンセプトシートの記入、練習				
15	定期試験	トータルコーディネートをして時間内にイメージを作り、撮影をして提出				

科目名 (英)	セルフビューティⅡ self beauty Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美					
		授業形態	演習								
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	60	有	開講区分	後期					
		単位	4		曜日・時間	月曜 1.2限					
講師紹介	国内外のエステサロんで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員が美と健康、食の知識をお客様に提供するための方法を分かりやすく教える。バランスの摂れた食事とは具体的にどのようなものなのか理解できるようになってほしい。										
目的 科目概要	目的:肌や身体のトラブル別の栄養アドバイスの知識を身につける。またボディ&フェイシャルトラブルに対するケア方法を学ぶ。 概要:栄養学、ボディトリートメント、フェイシャルトリートメントを行うための知識と技術を学ぶ。										
到達目標	・5大栄養素についての理解があり、トラブル別に栄養素のアドバイスができる ・カウンセリングで体の状態を見極め、お客様に合わせたトリートメントができる										
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題										
教科書	事前事後学習とその内容 事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。										
教材							プリント適宜配布				
特記事項							配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。				

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 栄養学 ボディゴマージュ	この授業の進め方 5大栄養素とは、糖質、脂質、タンパク質について ゴマージュの効果、禁忌事項、手順を理解する
2	栄養学 サクション	ビタミン、ミネラルについて サクションの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
3	栄養学 前操作 & G5	食物繊維について、ダイエットに効果的な機能性成分 G5の効果、禁忌事項、注意事項、ヘットの種類、手順を理解する
4	栄養学 ボディマッサージ	身体の不調と栄養素 上肢のマッサージの仕方を覚える
5	栄養学 ボディマッサージ	肌トラブル別の栄養のアドバイス 下肢のマッサージの仕方を覚える
6	栄養学 ボディパック	摂取カロリーと消費カロリーについて パックの効果、手順を理解し、均一に塗布し正確に除去する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	クレンジング、スキンチェック ディープクレンジング(選択)	モデルの肌トラブルを観察し正確に図示する モデルに適したディープクレンジングを選択し効果的な施術を行う
9	クレンジング、スキンチェック(カウンセリング機器) 機器トリートメント(選択)	カウンセリング機器を使用し肌トラブルを観察する モデルに適した機器トリートメントを選択し効果的な施術を行う
10	フェイシャルカウンセリング マッサージ	モデルの肌トラブルの原因と対策をカウンセリングにより見極める フェイシャルマッサージをスムーズに行う
11	フェイシャルカウンセリング パック(選択)	カウンセリングシートを正確に書く モデルに適したフェイシャル機器を選択し効果的な施術を行う
12	フェイシャルカウンセリング 選択トリートメント	モデルに適したホームケアアドバイスを記入し説明する モデルに適したトリートメントを行う
13	フェイシャルカウンセリング 選択トリートメント	モデルのフェイシャルカウンセリングをし、効果的な施術を行う
14	フェイシャルカウンセリング 選択トリートメント	モデルのフェイシャルカウンセリングをし、効果的な施術を行う
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する

科目名	プロフェッショナルへの道Ⅳ	年次	2	実務経験		担当	相馬 ひかり
(英)	Career Development Ⅳ	授業形態	講義				
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期	
		単位	2		曜日・時間	月曜日 3限	
講師紹介	社会人経験を生かし、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。						
目的 科目概要	グループワークや個人ワークを通して、他者理解や自己価値を発見し、社会に出たときに対応できる力や精神力を身につける 社会人基礎力に必要な能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を習得することができる						
到達目標	自己発見を行い、希望の就職先への内定に繋げる						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品						
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。		
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad						
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	後期目標設定	前期を振り返り、後期の目標設定。 就職活動の流れを含んだ後期のスケジュールを理解する。
2	社会人基礎力	社会人になる為の基礎を学ぶ。
3	グループディスカッション①	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
4	グループワーク②	グループワークを通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていくかを考える。
5	社会人基礎力	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
6	社会人基礎力	人前で報告する。
7	中間テスト	中間試験(1-6回目のまとめ)
8	社会人基礎力	5年後、10年後のビジョンについて考える
9	グループディスカッション①	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
10	グループワーク②	グループワークを通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていくかを考える。
11	社会人基礎力	社会人としてのマナーを身につける。(上座・下座)
12	社会人基礎力	社会人としてのマナーを身につける。(電話対応)
13	社会人基礎力	伝える力を学ぶ。
14	2年間の振り返り	これまでのおさらい、就職や卒業に向けて取り組むべきことの確認
15	定期試験	定期試験(8-14回目のまとめ)

科目名 (英)	ヘアメイクⅣ Hair make Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	長尾 建
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	後期
学科・専攻	メイクファッション科	単位	4		曜日・時間	火曜1.2限
講師紹介	様々なヘアメイク現場経験を持つ講師による即戦力となるヘアやメイクの技術を学ぶ					
目的 科目概要	ファッション別のヘアスタイル・ヘアセットの技術・知識を身につける。					
到達目標	ファッション別のカールアイロン使用しスタイリングができる。ハーフアップスタイルができる。アップスタイル(夜会)ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	資料配布	事前事後 学習と その内容	ヘアスタイリングの動画などを視聴する。			
教材	ヘア道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	技術チェック	I～Ⅲまでのヘア技術のスキルチェック
2	ファッションダウンスタイル①	カールアイロンを使用したスタイリング
3	ファッションダウンスタイル②	巻き方パターン、ツイスト巻きを使用したスタイリング
4	ファッションピニングテクニック①	ピニング・ホットカーラーを使用したスタイリング
5	ファッション別編み込み表・裏・レース編み	編み込みを使用したスタイリング
6	中間試験対策 ファッション別ハーフアップ①	ハーフアップスタイ
7	中間試験	ハーフアップスタイルをチェック
8	ファッション別ハーフアップ②	くるりんぱ・ローブ編み込みハーフアップスタイル
9	ファッション別アップスタイル①	ポニーテールパターン
10	ファッション別アップスタイル②	シニヨンパターンを習得する
11	ファッション別編み込みアレンジ	編み込みアレンジスタイル
12	ファッション別抱き合わせ	抱き合わせスタイル
13	ファッション別夜会	夜会
14	期末試験対策 ファッション別アップスタイル	アップスタイル
15	期末試験	アップスタイルをチェック

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅡ skin counseling	年次	2	実務経験	担当	伊藤 葉子
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	メイクファッション科	単位	2		曜日・時間	火曜日/3・4限
講師紹介	AEAJアロマセラピーインストラクター/アロマセラピスト、AEA認定講師、Ajesthe認定講師などの資格を有し、エステティック教育に20年以上尽力してきた講師が、アロマセラピーに必要な知識と技術をわかりやすく丁寧に講義する。					
目的 科目概要	目的:アロマセラピーを安全に利用するために必要な知識と技術を学ぶ。 概要:アロマセラピーを正しく行うために必要な、精油の知識と取扱い方、身体への影響、美容と健康、アロマセラピーの歴史、関連法規、アロマセラピーを利用したトリートメント法やクラフト作りを学ぶ。					
到達目標	精油の正しい知識を理解し、安全に取り扱えるようになることで、自分の心身の健康に役立てることができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	プリント適宜配布/筆記用具持参					
特記事項	必要な内容はメモを取ること。基本的に無断での写真撮影、動画撮影を禁止する。必要な場合は許可を得ること。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーの定義を理解し、精油の抽出方法と作用、安全な使用方法を学ぶ。 /芳香浴法の実践:実際に精油ビンを取り扱い芳香浴を行う。				
2	アロマセラピーのメカニズム	精油成分がどのように人体に入るか経路を学び、皮膚と心身への作用を理解する。 /吸入法の実践:嗅覚器からの吸収を行い心身への作用を体感する。				
3	美容と健康法①	美容と健康に重要なストレスと睡眠について学び、アロマセラピーがどのように作用するのか理解する。 /アロマクラフト作製:精油を嗅ぎ分け、アロマピローを作製する。				
4	美容と健康法②	女性のライフステージとホルモンの関係を学び、アロマセラピーの作用を理解する。 スキンタッチの効果とスキンケアの目的を再確認する。 /アロマクラフト作製:女性特有の症状に合わせてアロマオイルを作製する。				
5	アロマセラピーの歴史	アロマセラピーの歴史を古代から中世、近代、現代と順に学び、精油がどのように扱われ、ハーバリストやアロマセラピストがどのように活躍したのかを知る。 /アロマクラフト作製:オーデコロン「ケルンの水」を作製する。				
6	アロマセラピーに関する法律	アロマセラピーを実践するうえでトラブルにならないための法律について理解する。 /アロマクラフト作製:精油の作用を理解し目的に合わせてアロマコスメを作製する。				
7	中間試験	アロマセラピー試験を実施する。				
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅡ skin counseling	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期(8回～15回)
		単位	2		曜日・時間	火曜 3.4限
講師紹介	国内外で勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員が、スキンケアに対する知識を丁寧に指導する。一人ひとりの肌や体の状態には違いがあることを理解し、効果的な方法を実践・アドバイス出来るようになってほしい。					
目的 科目概要	目的:美肌検定に必要な知識を習得し、お客様に合わせたプラン・アドバイスを提供する 概要:美肌検定対策に必要な皮膚学、栄養学、化粧品学、セルフケアの知識を学ぶ					
到達目標	・美肌検定に合格する ・お客様に合わせたプラン・アドバイスを提供するために、これまでの技術と理論をすべて紐づける					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書	美肌検定の教科書			事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。 これまでのエステに関する資料も毎回持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント	美肌に見せる6つの条件とは 美肌ケアの基本
9	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント	美肌に効果的な食べ物の摂り方
10	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント	皮膚の構造と肌タイプについて
11	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント	美肌と4大ホルモン 美肌の4つの大敵
12	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント	化粧品の基本の使い方と選び方
13	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント	マッサージの効果とセルフケア方法
14	定期試験(美肌検定模擬テスト)	これまでの理解度を確認する
15	美肌検定試験	美肌検定筆記試験

科目名 (英)	ブランド研究Ⅲ Brand Research III	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期(8回～15回)
		単位	2		曜日・時間	水曜日 1.2限
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	今季のトレンドコスメ、トレンドメイク、話題のスキンケアなどを研究。肌タイプ別のケア方法を学ぶ。					
到達目標	今季のトレンドコスメやスキンケアアイテムを調べ、今の流行りを知ることができる。自分の肌がどのような状態なのか分析し、悩みに合わせたスキンケアを理解できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験					
教科書			事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。		
教材						
特記事項	ipadを毎回使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	トレンドのスキンケアアイテム、季節に合わせたアイテム調べ	今流行っているスキンケアアイテム、季節のスキンケアなどを事前に調べる
9	肌質を勉強	肌質に分けてグループ分け。合うスキンケアを調べ、プレゼン。他の肌タイプの発表を聞いて個々でまとめる。
10	実際に使ってみる	用意した肌タイプ別スキンケアを実際を使って、さわってみる。他の肌タイプのスキンケアもさわってみる。
11	1週間使ってみた結果	グループごとにまとめ、プレゼン。個々の肌がどう変わったか。
12	肌悩みに合わせたベースメイクアイテム	下地、ファンデ、パウダーの組み合わせを考え、自分の肌にあったアイテムを探してみる。
13	トレンドのメイクアイテム調べ	トレンドのメイクアイテムを調べる。
14	定期試験のセルフメイクルック、スキンケアまとめ、	デザインシートを作成、自分の肌タイプを理解した上でのコスメ選びの内容をまとめ、試験にのぞむ。
15	定期試験	学んだ知識・技術の集大成の作品を仕上げる。

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅳ General Make Up Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	後期
学科・専攻	メイクファッション科	単位	4		曜日・時間	水曜日 3.4限
講師紹介	コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くのヘアメイク現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	ヘアとメイクのトータルスキル年代別とアイコンヘアメイク。時代背景、ファッショントレンド、流行色、ヘア&メイクの特徴を学ぶ。					
到達目標	年代別の時代背景、ファッショントレンド、流行色、ヘア&メイクの特徴を理解し表現できる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	配布資料	事前事後 学習と その内容				
教材	メイク道具一式・iPad					
特記事項	必ずiPadを用意する					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	デザインワーク・年代別説明	年代別メイクの説明。デザインシートにヘア・メイクイメージを作成する。技術チェック
2	1920年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
3	1920年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
4	1930年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
5	1930年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
6	中間試験対策	年代別ヘア&メイク 60分
7	中間試験	年代別ヘア&メイク 60分
8	1940年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
9	1940年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
10	1950年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
11	1950年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
12	1960年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
13	1960年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
14	期末試験対策	年代別ヘア&メイク 60分
15	期末試験	年代別ヘア&メイク 60分

科目名 (英)	トータルセールス total sales	年次	2	実務経験	担当	殿村雅子
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期(1回~7回)
		単位	2		曜日・時間	金曜日 3・4限
講師紹介	様々なシーンでのネイルサロン等のサロンワークを経験					
目的 科目概要	これまで学んだ技術を応用させ、ファッション性の高いネイルを学ぶ					
到達目標	ファッションやメイクのテイストと合わせ、デザイン性のあるジェルネイルができるようになる。トータルコーディネイトとしての完成度を上げる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具、ジェル用具、ペーパー、アルミホイル、iPad					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	トレンドアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】オーロラネイル、ミラーネイル。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点(セッティング)				
2	トレンドアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】マグネットネイル(様々な柄の入れ方)デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点(仕上がり)				
3	トレンドアート③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3Dアート(お花、葉っぱ) 【履修確認】小テスト2点(仕上がり)+課題点4点				
4	トレンドアート④	【授業形態】講義・実習 【到達目標】3Dアート(動物など) 【履修確認】小テスト2点				
5	セルフコーディネート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作 【履修確認】小テスト2点				
6	セルフコーディネート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】自分のメイク・ファッションにあわせたネイルチップをサイズもあわせて10本作成 【履修確認】小テスト2点 + 課題点4点				
7	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】アートチップ 【履修確認】期末試験30点				
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

科目名 (英)	トータルセールス total sales	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクファッション科	時間数	30	有	開講区分	後期(8回～15回)
		単位	2		曜日・時間	木曜日 3.4限
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	様々な美容の職種で活かせる提案力の向上を目指す。					
到達目標	美容の職種で大事な、提案力や接客力を磨き、お客様に指名される美容のプロを目指せるようになる。カウンセリング力やコミュニケーション力を養うロールプレイングにて、未来の自分をよりイメージできるようにする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験 ■筆記試験					
教科書			事前事後 学習と その内容	色々なお店にいき、いい接客はどういうものなのか、自分ならどうい接客をするか考えてみると勉強になると思います。		
教材						
特記事項	ipadを使う授業があります。エプロン、名札を着用。コットンなどの消耗品しっかり持ってくる。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8	美容部員として、アパレル店員として	それぞれの魅力。理想と現実を考える。
9	共感力、販売力、あいづちの大事さ	お客様が求めているもの以上のサービスを提供するには？
10	グループロールプレイング@ファッション実習室	アパレルのお仕事のロールプレイング。色々なお客様への対応。
11	グループワーク	先週のロールプレイングのフィードバック、
12	グループロールプレイング	美容部員のお仕事のロールプレイング。色々なお客様への対応。
13	グループワーク	先週のロールプレイングのフィードバック。
14	試験前のまとめ	美容の仕事に必要なもの、心構えなどをまとめ、定期試験に臨む。
15	定期試験	今まで学んだ知識・技術の集大成の作品を仕上げる。

科目名 (英)	デザイントレーニング design training	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・専攻	メイクファッション科	単位	4		曜日・時間	金曜日 1.2限
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	創造力を発揮し、さまざまなデザインテーマのメイクを考え、作品をつくる。デザインシートやコラージュをつくり、時代背景をまとめる。					
到達目標	年代別の時代背景、ファッショントレンド、流行色の特徴を理解し表現できるようになる。年代別や今の流行を知ることで自分の知識の幅が広がり、色々な年代のお客様対応ができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	メイク道具一式					
特記事項	エプロン、名札を着用する。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	2010年アイドルメイクデザイン	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。				
2	メイク実技	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、撮影。				
3	2000年ギャルメイクデザイン	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。				
4	メイク実技	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、撮影。				
5	1950年オードリーヘップバーンメイク	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。				
6	メイク実技	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、撮影。				
7	中間試験	今までの技術・知識を作品に仕上げる。				
8	中華メイク	流行りの中国メイクを調べつつメイク。相モデルで作品撮り。				
9	1980年聖子ちゃんメイク	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。				
10	メイク実技	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、撮影。				
11	1990年ヤマンバメイク	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。				
12	メイク実技	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、撮影。				
13	1970年代ヒッピーメイク	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。				
14	メイク実技	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、撮影。				
15	定期試験	今までの技術・知識の集大成の作品に仕上げる。				